



Cisco Configuration Professional クイック スタート ガイド

Cisco Configuration Professional Quick Start Guide

2009年6月10日

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco Configuration Professional Express (Cisco CP Express) および Cisco Configuration Professional (Cisco CP) の使用方法について説明します。

Cisco CP は GUI ベースのデバイス管理ツールで、Cisco IOS ベースのアクセス ルータ (シスコのサービス統合型ルータ、Cisco 7200 シリーズ ルータ、Cisco 7310 ルータなど) を設定することができます。Cisco CP では、GUI ベースの使いやすいウィザードから、ルータ、セキュリティ、ユニファイド コミュニケーション、無線、WAN や基本的な LAN の設定を簡単に実行できます。Cisco CP は PC 上にインストールします。

Cisco CP Express は、Cisco CP の 軽量版です。Cisco CP Express では、ルータの LAN および WAN インターフェイスに基本的なセキュリティ機能を設定できます。Cisco CP Express はルータのフラッシュ メモリに保存されています。

このマニュアルでは、PC をセットアップしてルータに接続する方法、Cisco CP Express を使用してルータのネットワーク初期設定を行う方法、および Cisco CP の使用を開始する方法について説明します。

このマニュアルの対象読者は、表 1 に一覧表示されている発注オプション (SKU) のいずれかを使用される方、Cisco.com からコンフィギュレーション ツールをダウンロードして使用される方が対象です。サポートされるルータ、ブラウザ、およびプラグインについては、『*Release Notes for Cisco Configuration Professional*』を参照してください。



Cisco CP 発注オプションは、さまざまな構成に対応できるように提供されています。表 1 では、Cisco CP 発注オプション、サポート対象構成、およびこのマニュアルの使用方法について説明しています。

表 1 Cisco CP 発注オプション

発注オプション (SKU)	CD およびコンフィギュレーションファイル	該当するタスク セクション
<p>CCP-CD</p> <p>Cisco CP Express を使用して入手時にルータを個別に設定し、Cisco CP を CD からインストールして使用を開始できます。</p>	<p>Cisco CP CD は含まれていますか。</p> <p>はい。Cisco CP CD が提供されます。</p> <p>NVRAM にデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。NVRAM にはデフォルト コンフィギュレーションファイルがあるので、ルータの起動時に IP アドレスを含む基本設定がなされます。</p> <p>フラッシュ メモリにデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。ルータは Cisco CP Express の Restore To Factory Defaults 機能を使用して、いつでも工場出荷時のデフォルト設定にすることができます。</p>	<p>このマニュアルの次のタスク セクションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク 2 : インターフェイス カードの取り付けおよびルータのケーブルリング • タスク 4 : PC の IP アドレスの設定 • タスク 5 : PC とルータの接続 • タスク 6 : Cisco CP Express ウィザードの実行 • タスク 7 : 初期設定の確認 • タスク 8 : Cisco CP のインストール • タスク 9 : Cisco CP の使用開始
<p>CCP-CD-NOCF</p> <p>TFTP サーバを使用するなどの手段で柔軟にコンフィギュレーションをルータにロードでき、バッチ設定が可能です。コンソールセッションを開始した場合は、setup コマンド機能が自動的に開始されます。</p>	<p>Cisco CP CD は含まれていますか。</p> <p>はい。Cisco CP CD が提供されます。</p> <p>NVRAM にデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>いいえ。ルータとコンソールセッションが確立されると、Setup Command Facility (setup コマンド機能) が自動的に開始されます。</p> <p>フラッシュ メモリにデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。ルータは Cisco CP Express の Restore To Factory Defaults 機能を使用して、いつでも工場出荷時のデフォルト設定にすることができます。</p>	<p>このマニュアルの次のタスク セクションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク 2 : インターフェイス カードの取り付けおよびルータのケーブルリング • タスク 3 : ルータでの Cisco CP の設定 • タスク 8 : Cisco CP のインストール • タスク 9 : Cisco CP の使用開始

表 1 Cisco CP 発注オプション (続き)

発注オプション (SKU)	CD およびコンフィギュレーションファイル	該当するタスク セクション
<p>CCP-EXPRESS</p> <p>Cisco CP Express を使用して入手時にルータを個別に設定できます。Cisco CP が必要な場合は、www.cisco.com からダウンロードできます。</p>	<p>Cisco CP CD は含まれていますか。</p> <p>いいえ。Cisco CP CD は提供されません。Cisco CP を使用したい場合は、次のページからダウンロードできます。 http://www.cisco.com/go/ciscocp</p> <p>NVRAM にデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。NVRAM にはデフォルト コンフィギュレーション ファイルがあるので、ルータの起動時に IP アドレスを含む基本設定がなされます。</p> <p>フラッシュ メモリにデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。ルータは Cisco CP Express の Restore To Factory Defaults 機能を使用して、いつでも工場出荷時のデフォルト設定にすることができます。</p>	<p>このマニュアルの次のタスク セクションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク 1 : Cisco CP ファイルのダウンロード • タスク 2 : インターフェイス カードの取り付けおよびルータのケーブルリング • タスク 4 : PC の IP アドレスの設定 • タスク 5 : PC とルータの接続 • タスク 6 : Cisco CP Express ウィザードの実行 • タスク 7 : 初期設定の確認 • タスク 8 : Cisco CP のインストール • タスク 9 : Cisco CP の使用開始
<p>CCP-EXPRESS-NOCF</p> <p>TFTP サーバを使用するなどの手段で柔軟にコンフィギュレーションをルータにロードでき、バッチ設定が可能です。コンソールセッションを開始した場合は、<code>setup</code> コマンド機能が自動的に開始されます。</p>	<p>Cisco CP CD は含まれていますか。</p> <p>いいえ。Cisco CP CD は提供されません。Cisco CP を使用したい場合は、次のページからダウンロードできます。 http://www.cisco.com/go/ciscocp</p> <p>NVRAM にデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>いいえ。ルータとコンソールセッションが確立されると、<code>Setup Command Facility (setup コマンド機能)</code> が自動的に開始されます。</p> <p>フラッシュ メモリにデフォルト コンフィギュレーション ファイルは含まれていますか。</p> <p>はい。ルータは Cisco CP Express の Restore To Factory Defaults 機能を使用して、いつでも工場出荷時のデフォルト設定にすることができます。Cisco CP はルータと一緒に出荷されません。</p>	<p>このマニュアルの次のタスク セクションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク 1 : Cisco CP ファイルのダウンロード • タスク 2 : インターフェイス カードの取り付けおよびルータのケーブルリング • タスク 3 : ルータでの Cisco CP の設定 • タスク 8 : Cisco CP のインストール • タスク 9 : Cisco CP の使用開始

タスク 1 : Cisco CP ファイルのダウンロード

このセクションでは、Cisco CP ファイルのダウンロード方法について説明します。このセクションを使用する必要があるかどうかは、次の表から判断してください。

このセクションを使用する場合 CD は入手しなかったが、Cisco CP をインストールして使用したい場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 CD を入手していた場合は、このセクションを省略し、「[タスク 2 : インターフェイスカードの取り付けおよびルータのケーブルリング](#)」に進みます。

Cisco CP をダウンロードする手順は、つぎのとおりです。

-
- ステップ 1** ブラウザを開き、次のリンクに進みます。
<http://www.cisco.com/go/ciscocp>
 - ステップ 2** Support ボックスで、**Download Software** をクリックします。
 - ステップ 3** Web ページで Cisco.com クレデンシャルを要求されたら、クレデンシャルを入力し、**Log In** をクリックします。Cisco.com クレデンシャルを取得する必要がある場合は、この Web ページの上部の **Register** をクリックします。
 - ステップ 4** Download ページはリリースの選択ができるようになっています。ダウンロードしたいリリースを選択します。
 - ステップ 5** 選択したリリースに対応する Download ページで、**Cisco-config-pro-k9-pkg-N_N-ln.zip** リンクをクリックし、Cisco CP をダウンロードします。ファイル名の *N_N* はバージョン番号を、*ln* は言語を表しています。英語版の Cisco CP 1.1 を使用したい場合は、リンク **Cisco-config-pro-k9-pkg-1_1-en.zip** をクリックします。
 - ステップ 6** ダウンロードしたファイルを PC に保存します。
-

このパッケージは、「[タスク 8 : Cisco CP のインストール](#)」(P.20) で使用します。

タスク 2：インターフェイス カードの取り付けおよびルータのケーブルリング

ここでは、ルータを取り付ける際の物理的な準備作業の概要について説明します。

このセクションを使用する場合 新しいルータを設定する場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 すでに使用しているルータを管理する目的で Cisco CP をインストールする場合は、このセクションを省略できます。

Cisco CP Express を使用するには、あらかじめ WAN Interface Card (WIC)、Network Module (NM)、Advanced Interface Module (AIM) など、ネットワークに接続する際に使用される適切なハードウェア アクセサリがすべてルータに取り付けられている必要があります。これらインターフェイス カードの取り付け方法、ルータのケーブルリング方法、およびすべての接続が適切に動作しているかどうかの確認方法については、使用するルータのクイック スタート ガイドまたはハードウェア インストール ガイドを参照してください。

タスク 3：ルータでの Cisco CP の設定

このセクションでは、Cisco CP Express と Cisco CP をサポートするようにルータを設定する方法について説明します。

このセクションを使用する場合 発注オプションに NVRAM のコンフィギュレーション ファイルが含まれていない場合で Cisco CP Express または Cisco CP を使用したい場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 発注オプションに NVRAM のコンフィギュレーション ファイルが含まれている場合は、このセクションを省略できます。ルータは Cisco CP Express と Cisco CP をサポートするように設定されます。

ルータに接続し管理するために、Cisco CP Express および Cisco CP は次の基本設定を必要とします。

- HTTP サーバまたは HTTPS サーバは、ローカル認証をイネーブルにする必要があります。
- ローカル ユーザ アカウントは、特権レベル 15 と付随するパスワードを設定する必要があります。
- SSH/Telnet プロトコルを使用する VTY 回線は、ローカル認証をイネーブルにする必要があります。これはインタラクティブ コマンドのために必要です。
- 次の手順に示されるパラメータで HTTP タイムアウト ポリシーを設定して、Cisco CP の起動に関する既知の問題を回避する必要があります。
- Cisco CP を稼働させる PC および Cisco CP の起動に使用されるインターフェイスには、同じサブネットからの IP アドレスを設定する必要があります。

これらの要件が満たされるようにルータを設定するには、次の 2 つの方法があります。

- デフォルト コンフィギュレーション ファイルを、ルータのフラッシュ メモリからルータの NVRAM にコピーします。各発注オプションには、ルータのフラッシュ メモリにデフォルト コンフィギュレーション ファイルが提供されています。この方法を使用するには、「[デフォルト コンフィギュレーション ファイルをルータの NVRAM にコピー](#)」を参照してください。
- Cisco IOS CLI を使用して、必要なコンフィギュレーションコマンドを入力します。この方法を使用するには、「[コンフィギュレーション コマンドの手動入力](#)」を参照してください。

デフォルト コンフィギュレーション ファイルをルータの NVRAM にコピー

Cisco CP をサポートする工場出荷時のデフォルト設定を使用したい場合は、このセクションの手順を使用できます。工場出荷時のデフォルト設定には、Cisco CP をサポートするために必要なすべてのコマンドが含まれており、イーサネット インターフェイスに IP アドレス 10.10.10.1 が設定されます。

デフォルト コンフィギュレーション ファイルをルータのフラッシュメモリから NVRAM にコピーする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 コンソール ポートまたはイーサネット ポートを介してルータにログインします。

ステップ 2 コンソール ポートを使用する場合で、ルータに実行コンフィギュレーションが存在しないと、Setup Command Facility が自動的に開始されて次のテキストが表示されます。

```
--- System Configuration Dialog ---
```

```
Continue with configuration dialog? [yes/no]:
```

no を入力すると、Cisco IOS CLI コマンドを直接入力できるようになります。

setup コマンド機能が自動的に開始されない場合は、実行コンフィギュレーションが存在しているので、次のステップに進んでください。

ステップ 3 ルータからユーザ EXEC モードプロンプトが表示されたら、次に示すように **enable** コマンドおよびイーサネット パスワード（設定されている場合）を入力します。

```
Router> enable
password password
Router#
```

ステップ 4 デフォルト コンフィギュレーション ファイルを特定するには、**show flash** コマンドを入力します。ファイル名の形式は **cpconfig-modelnumber.cfg** です。**modelnumber** はルータのシリーズを意味します。たとえば、Cisco 860 シリーズおよび 880 シリーズ ルータのコンフィギュレーション ファイルの名前は **cpconfig-8xx.cfg** となります。

```
Router# show flash
-#- --length-- -----date/time----- path
1      2903 Apr 15 2008 20:34:48 +00:00 cpconfig-8xx.cfg
2      115712 Apr 15 2008 20:34:50 +00:00 home.tar
3      2279424 Apr 15 2008 20:34:54 +00:00 cpexpress.tar
Router#
```

- ステップ 5** デフォルト コンフィギュレーション ファイルをルータの NVRAM にコピーするには、**copy flash: nvram:** コマンドを入力します。次の例を参照してください。

```
Router# copy flash: cpconfig-8xx.cfg nvram:
```

デフォルト コンフィギュレーション ファイルが NVRAM に存在していると、それがルータの起動コンフィギュレーションとなります。

- ステップ 6** この新しい起動コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションにして、ルータが Cisco CP をサポートできるようにするには、**copy startup-config running-config** コマンドを入力します。次の例を参照してください。

```
Router# copy startup-config running-config
```

コンフィギュレーション コマンドの手動入力

ルータにすでにコンフィギュレーションが存在する場合や、ほかの何らかの理由から工場出荷時のデフォルト設定を使用したくない場合は、このセクションの手順を使用して個別に必要なコマンドをコンフィギュレーションに追加できます。

Cisco IOS コマンドを手動で入力する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** コンソール ポートまたはイーサネット ポートを介してルータにログインします。
- ステップ 2** コンソール ポートを使用する場合で、ルータに実行コンフィギュレーションが存在しないと、**Setup Command Facility** が自動的に開始されて次のテキストが表示されます。
- ```
--- System Configuration Dialog ---
Continue with configuration dialog? [yes/no]:
```
- no** を入力すると、Cisco IOS CLI コマンドを直接入力できるようになります。
- setup** コマンド機能が自動的に開始されない場合は、実行コンフィギュレーションが存在しているので、次のステップに進んでください。
- ステップ 3** ルータからユーザ EXEC モード プロンプトが表示されたら、**enable** コマンドおよびイネーブル パスワード（設定されている場合）を入力します。次の例を参照してください。
- ```
Router> enable
password password
```
- ステップ 4** **config terminal** コマンドを入力して設定モードを開始します。次の例を参照してください。
- ```
Router> config terminal
Router(config)#
```
- ステップ 5** 次に示す構文を使用し、特権レベル 15 のユーザ アカウントを作成します。
- ```
Router(config)# username name privilege 15 secret 0 password
```

- ステップ 6** ルータのインターフェイスに IP アドレスが設定されていない場合は、アドレスを 1 つ設定してネットワーク上のルータにアクセスできるようにします。次に、インターフェイス **Fast Ethernet 0** の設定の例を示します。

```
Router(config)# int FastEthernet0
Router(config-if)# ip address 10.10.10.1 255.255.255.248
Router(config-if)# no shutdown
Router(config-if)# exit
```

PC とルータを直接接続する場合は、このインターフェイスと同じサブネット上に PC が存在する必要があります。

- ステップ 7** ノンセキュア通信を行う場合はルータを HTTP サーバとして設定し、セキュア通信を行う場合はルータを HTTPS サーバとして設定します。

ルータを HTTP サーバとして設定するには、**ip http server** コマンドを入力します。次の例を参照してください。

```
Router(config)# ip http server
```

ルータを HTTPS サーバとして設定するには、**ip http secure-serve** コマンドを入力します。次の例を参照してください。

```
Router(config)# ip http secure-server
```

- ステップ 8** **ip http authentication local** コマンドを入力して、ルータにローカル認証を設定します。次の例を参照してください。

```
Router(config)# ip http authentication local
```

- ステップ 9** HTTP タイムアウト ポリシーを設定します。次の例を参照してください。

```
Router(config)# ip http timeout-policy idle 60 life 86400 requests 10000
```

- ステップ 10** VTY 回線の特権レベル 15 に設定します。ノンセキュア アクセスの場合は、**transport input telnet** コマンドを入力します。セキュア アクセスの場合は、**transport input telnet ssh** コマンドを入力します。次に、これらのコマンドの例を示します。

```
Router(config)# line vty 0 4
Router(config-line)# privilege level 15
Router(config-line)# login local
Router(config-line)# transport input telnet
Router(config-line)# transport input telnet ssh
Router(config-line)# exit
Router(config)# line vty 5 15
Router(config-line)# privilege level 15
Router(config-line)# login local
Router(config-line)# transport input telnet
Router(config-line)# transport input telnet ssh
Router(config-line)# end
```


タスク 4 : PC の IP アドレスの設定

このセクションでは、Cisco CP Express に接続してルータの設定を開始するために、PC に IP アドレスを設定する方法を説明します。

このセクションを使用する場合 新しいルータを設定する際に、Cisco CP Express を使用してルータの基本設定を行う場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 Cisco CP Express でルータの基本設定を行わない場合は、このセクションを省略できます。

デフォルト コンフィギュレーション ファイルにより、ルータの LAN インターフェイスに IP アドレスが割り当てられます。したがって、ルータの LAN インターフェイスと同じサブネット上になるように PC を設定する必要があります。ルータが固定インターフェイス モデルの場合、DHCP サーバとして設定されているので、PC では IP アドレスを自動的に受け入れるように設定する必要があります。ルータがモジュラ インターフェイスを搭載できる場合、DHCP サーバとして設定されていないので、PC ではルータと同じサブネットの固定 IP アドレスを設定する必要があります。

PC に IP アドレスを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 表 2 を使用して、ルータのモデル番号を調べます。PC の必須 IP アドレスをメモに取ります。



(注) 設定するルータ モデルが表 2 に記載されていない場合は、『*Release Notes for Cisco Configuration Professional*』で更新情報を確認してください。

表 2 PC の必須 IP アドレス設定

ルータ モデル	DHCP サーバ	PC の必須 IP アドレス
Cisco 815、Cisco 85x、Cisco 86x、 Cisco 87x、Cisco 88x、Cisco 891、 Cisco 892、Cisco 180x、Cisco 1805、 Cisco 1811 および 1812	あり	IP アドレスの自動取得
Cisco 1841、Cisco 1861、Cisco 28xx、 Cisco 38xx	なし	固定 IP アドレス (10.10.10.2 ~ 10.10.10.6) サブネット マスク : 255.255.255.248

ステップ 2 PC に IP アドレスを設定します。

Microsoft Windows XP が稼働する PC の場合、次の手順を実行してインターネット プロトコル TCP/IP のプロパティ ダイアログを表示します。

- a. [スタート]>[コントロールパネル]>[ネットワーク]>[ローカルエリア接続]の順にクリックします。
- b. 項目リストで[インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択します。
- c. [プロパティ]をクリックします。
- d. ステップ 3 に進みます。

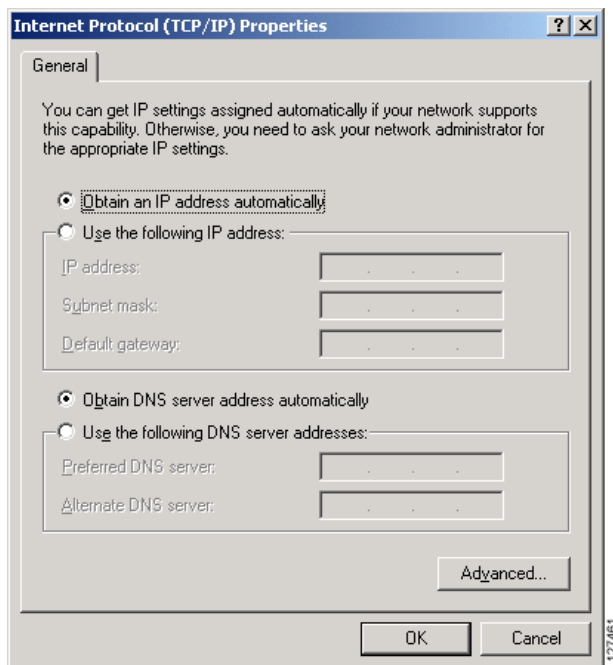
Microsoft Windows Vista が稼働する PC の場合、次の手順を実行してインターネットプロトコル TCP/IP のプロパティのダイアログを表示します。

- a. [スタート]>[コントロールパネル]>[ネットワークと共有センター]の順にクリックします。
- b. 左側のタスク カラムで、[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- c. [ネットワーク接続]の画面で、[ローカル エリア接続]をクリックします。
- d. [ローカル エリア接続のプロパティ]ダイアログの[ネットワーク]タブで、**Internet Protocol Version 4**を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- e. **ステップ 3**に進みます。

ステップ 3 [全般]タブで、IP アドレスを設定します。

IP アドレスを DHCP サーバから取得するように PC を設定するには、[IP アドレスを自動的に取得する]をクリックします。図 1 を参照してください。

図 1 IP アドレスを自動取得するように PC を設定

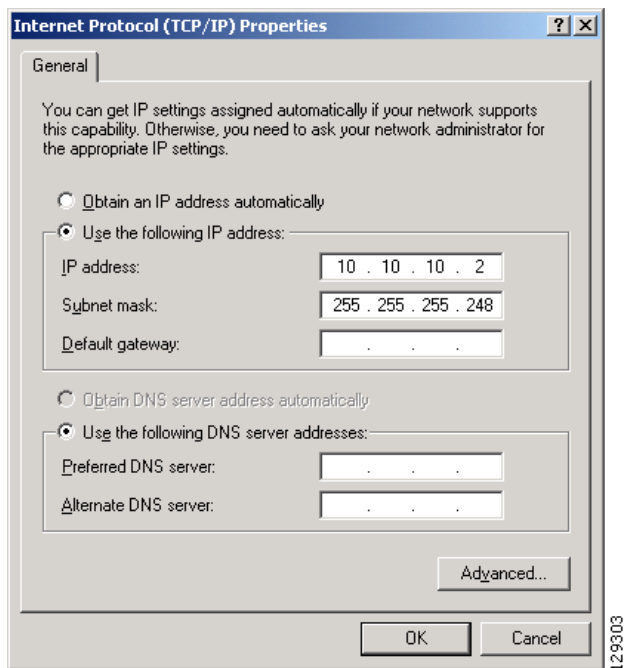


- [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

[全般]タブで、PC に固定アドレス 10.10.10.2 とサブネット マスク 255.255.255.248 を設定する手順は、次のとおりです。

- [次の IP アドレスを使う] をクリックします。図 2 を参照してください。

図 2 固定 IP アドレスを PC に設定



- IP アドレス フィールドに、次の IP アドレスを入力します。
10.10.10.2
- サブネット マスク フィールドに、次のサブネット マスクを入力します。
255.255.255.248
- **[OK]** をクリックしてダイアログを閉じます。

タスク 5 : PC とルータの接続

このセクションでは、PC とルータをケーブルで接続して初期設定を行う方法について説明します。

このセクションを使用する場合 新しいルータを設定する際に、Cisco CP Express を使用してルータの基本設定を行う場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 すでに使用しているルータを管理する目的で Cisco CP をインストールする場合は、このセクションを省略できます。

ルータに PC を接続します (図 3 を参照)。

図 3 イーサネット ケーブルを使用した PC とルータの接続

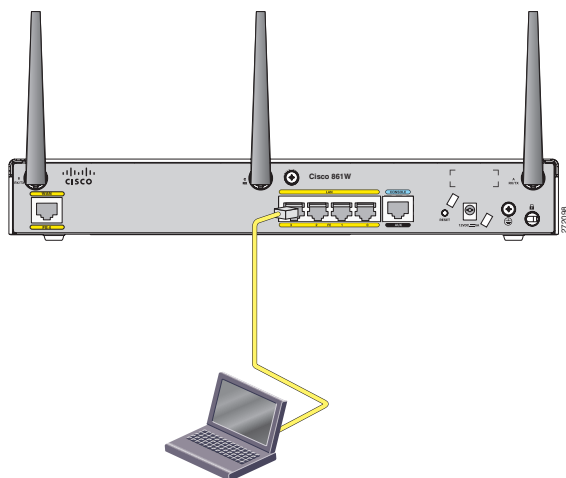


図 3 は一般的な接続例です。表 3 の情報を使用して、PC のイーサネット ポートとルータの適切なイーサネット ポートを接続します。

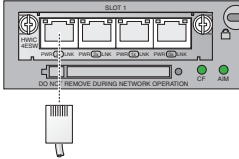
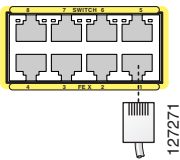
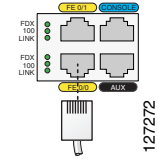
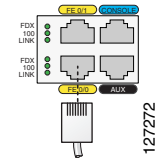
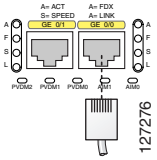
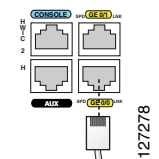
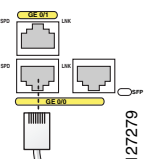


(注) 接続するルータ モデルが表 3 に記載されていない場合は、該当するルータのハードウェア インストール レーション ガイドを参照してください。

表 3 ルータのイーサネット ポート

ルータ モデル	ケーブル タイプ	イーサネット ケーブルを図示されているポートに接続
Cisco 815	ストレート (ルータに同梱)	<p>任意の ACT リンク ポートに接続</p>
Cisco 850 シリーズ Cisco 860 シリーズ Cisco 870 シリーズ Cisco 880 シリーズ	ストレート (ルータに同梱)	<p>任意の LAN ポートに接続</p>
Cisco ISR 1801 Cisco ISR 1802 Cisco ISR 1803	ストレート (ルータに同梱)	<p>任意の SWITCH ポートに接続</p>

表 3 ルータのイーサネット ポート (続き)

ルータ モデル	ケーブル タイプ	イーサネット ケーブルを图示されているポートに接続	
Cisco ISR 1805	ストレート (ルータに同梱)	 <p>任意の PWR リンク ポートに接続</p>	
Cisco ISR 1811 Cisco ISR 1812		 <p>任意の SWITCH ポートに接続</p>	
Cisco ISR 1841 Cisco ISR 1861	クロス、またはイーサネットスイッチの場合はストレート (ルータには同梱されません)	 <p>FE 0/0 に接続</p>	
Cisco ISR 2800 シリーズ	クロス、またはイーサネットスイッチの場合はストレート (ルータには同梱されません)	 <p>FE 0/0 に接続</p>	 <p>GE 0/0 に接続</p>
Cisco ISR 3800 シリーズ	クロス、またはイーサネットスイッチの場合はストレート (ルータには同梱されません)	 <p>GE 0/0 に接続</p>	 <p>GE 0/0 に接続</p>

タスク 6 : Cisco CP Express ウィザードの実行

このセクションでは、Cisco CP Express ウィザードを実行してルータの基本設定を行う方法について説明します。

このセクションを使用する場合 新しいルータを設定する際に、Cisco CP Express を使用してルータの基本設定を行う場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 すでに使用しているルータを管理する目的で Cisco CP をインストールする場合は、このセクションを省略できます。

Cisco CP Express は、ルータの LAN 接続およびインターネット接続を簡単に設定できる Cisco CP プログラムです。Cisco CP Express を使用してルータの基本接続を行ったあと、Cisco CP を使用してより複雑な設定を行うことができます。次の機能を設定する場合は、Cisco CP Express ウィザードを使用することを推奨します。

- ルータ名
- ユーザ名およびパスワード
- LAN IP アドレス
- DHCP サーバ（必要な場合）

このウィザードで WAN 接続、ファイアウォール、およびセキュリティの設定を行うことができますが、必須ではありません。これらの機能は Cisco CP に用意されているウィザードで設定できます。

Cisco CP Express を使用する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 PC 上でブラウザを開き、アクティブなポップアップ ブロッカーがある場合は無効にしてから、次の URL を入力します。

http://10.10.10.1

ステップ 2 ログイン ウィンドウでユーザ名 **cisco** と、パスワード **cisco** を入力します。起動処理中に別のログイン ウィンドウが表示された場合は、同じクレンジナル (**cisco/cisco**) を入力します。ログイン ウィンドウが表示されない場合は、ヒント セクションを参照してください。



ヒント URL **http://10.10.10.1** を入力しても起動ページが表示されない場合は、次の手順で PC とルータの間の接続を調べてください。

- ルータの Power LED がオンであること、および PC が接続されているポートの LED がオンであることを確認します。オン状態は、ルータと PC の間のイーサネット接続がアクティブになっていることを意味します。この LED が点灯していない場合、PC とルータの間がクロス ケーブルで接続されていること、またはルータとスイッチの間がストレート ケーブルで接続されていることを確認します。
- ブラウザの「オフライン作業」オプションが無効になっていることを確認します。Internet Explorer の場合は、[ファイル] メニューをクリックし、[オフライン作業] オプションがオフになっていることを確認します。
- フラッシュ メモリに **cpexpress.tar**、**home.tar**、および **home.shtml** がロードされていることを確認します。10.10.10.1 と Telnet セッションを開き、ユーザ名 **cisco** およびパスワード **cisco** を入力します。**show flash** コマンドを入力すると、フラッシュ メモリにロードされているファイルが表示されます。



(注) セキュリティ上の理由から、ユーザ名 **cisco** およびパスワード **cisco** は最初に使用された時点で期限切れになります。ルータをログオフする前に、必ず次の Cisco IOS コマンドを入力してください。

```
username username privilege 15 secret 0 password
```

上記のコマンドの *username* と *password* は、実際に使用するユーザ名とパスワードに置き換えます。このコマンドにより、特権レベル 15 とパスワードを持つ新しいユーザが作成されます。この作業を行わないと、セッションが終了したあとルータにログインできなくなります。2 回め以降にセッションを開く場合は、ユーザ名 **cisco**/パスワード **cisco** ではなく、作成した新しいクレデンシャルを使用してください。

- PC の IP アドレスが適切に設定されていることを確認します。ルータによっては、PC に IP アドレスを自動取得させる必要がある場合と、PC に固定 IP アドレスを設定する必要がある場合があります。表 2 (P.9) で該当するルータを調べて、PC の設定方法を確認してください。

ルータに接続すると、Cisco CP Express 起動ページ (図 4) が表示されてから、1 つまたは複数の認証ウィンドウが表示されます。この図に示されているバージョンは単なる例です。起動ページに実際に表示されるバージョンは例と異なる場合があります。

図 4 Cisco CP Express 起動ページ



- ステップ 3** 「はい」をクリックするか、または「許可」をクリックして認証を受け入れます。
- ステップ 4** Cisco CP Express のページが表示され、続いて Cisco CP Express ウィザードのページが表示されます (図 5)。「次へ」をクリックして、ルータの設定を開始します。

図 5 Cisco CP Express のページとウィザードのページ



 ヒント

Cisco CP Express ウィザードから、Cisco IOS ソフトウェアへのアクセスを制御するためにイネーブルシークレットパスワードを入力するように要求されます。入力したイネーブルシークレットパスワードはメモに取るか覚えておくようにしてください。「Enable Password フィールド」または「要約」にこのパスワードは表示されません。またルータ コンフィギュレーションを消さないかぎりパスワードはリセットできません。さらに、ルータの LAN IP アドレスをデフォルトの値から変更するように要求されます。

- ステップ 5** 「要約」が表示されたら、LAN IP アドレス、ユーザ名、ユーザパスワードをメモに取り、「完了」をクリックします。この情報は、ルータと再接続して追加設定を行うときに必要になります。
- ステップ 6** Cisco CP Express を終了し、「タスク 7 : 初期設定の確認」を実行して PC の再設定およびルータとの再接続 (LAN インターフェイスに設定した新しい IP アドレスを使用) を行います。

タスク 7：初期設定の確認

このセクションでは、Cisco CP Express を使用して実行した初期設定を確認する方法について説明します。

このセクションを使用する場合 Cisco CP Express でルータの基本設定を行った場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 Cisco CP Express でルータの基本設定を行わなかった場合は、このセクションを省略できます。

Cisco CP Express に再接続して初期設定を確認する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 PC の IP アドレスがルータの LAN インターフェイスと同じサブネット上にあることを確認します。これ以降の手順は、PC に IP アドレスを自動取得するように設定する場合と、PC に固定 IP アドレスを設定する場合とで異なります。

PC に IP アドレスを自動取得するように設定する手順は、次のとおりです。

- a. 「[タスク 4：PC の IP アドレスの設定](#)」(P.9) の手順に従い、[インターネット プロトコル] の [プロパティ] から [全般] タブに進みます。
- b. [IP アドレスを自動的に取得する] をクリックします。[図 1 \(P.10\)](#) を参照してください。[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。
- c. [スタート]>[ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
- d. [ファイル名を指定して実行] フィールドで、**cmd** と入力します。
- e. 表示されたコマンドウィンドウで、**ipconfig /release** コマンドを入力したあと、**ipconfig /renew** コマンドを入力して、ルータから新しい IP アドレスを取得します。これらのコマンドを入力すると、次のような出力が表示されます。

```
C:\> ipconfig /release
Ethernet adapter Local Area Connection:
    Connection-specific DNS Suffix . . : somename.com
    IP Address. . . . . : 0.0.0.0
    Subnet Mask . . . . . : 0.0.0.0
    Default Gateway . . . . . :
```

```
C:\> ipconfig /renew
Ethernet adapter Local Area Connection:
    Connection-specific DNS Suffix . . : somename.com
    IP Address. . . . . : 192.168.1.147
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
```

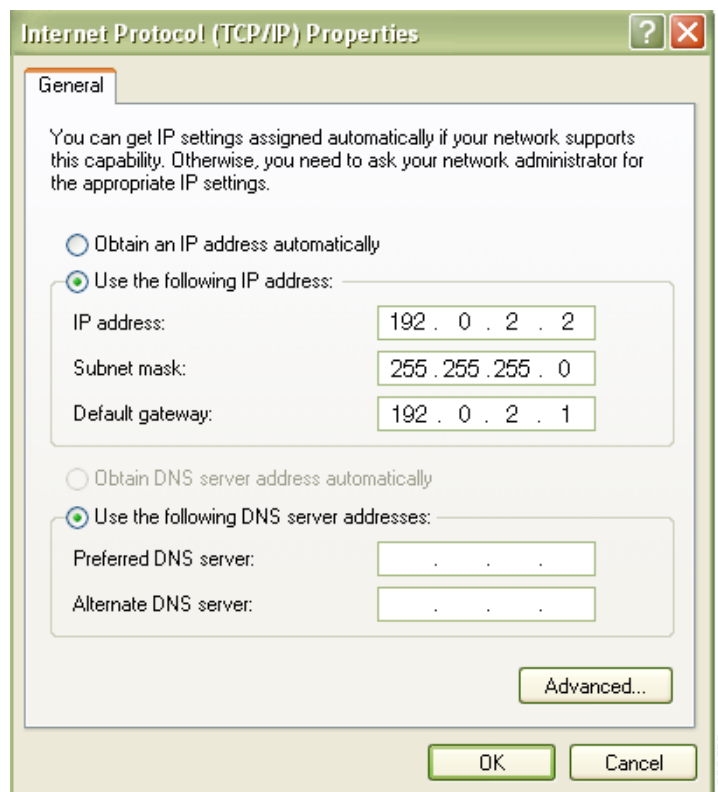


(注) IP アドレスを自動取得するように PC が元々設定されていた場合でも、**ipconfig /release** コマンドと **ipconfig /renew** コマンドを入力する必要があります。

PC に固定 IP アドレスを設定する手順は、次のとおりです。

- a. 「**タスク 4: PC の IP アドレスの設定**」(P.9) の手順に従い、[インターネットプロトコル] の [プロパティ] から [全般] タブに進みます。
- b. [次の IP アドレスを使う] をクリックします。IP アドレスとサブネット マスクを入力します。
図 6 (P.18) の例を参照してください。
- c. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

図 6 **新しい固定 IP アドレスを PC に設定**



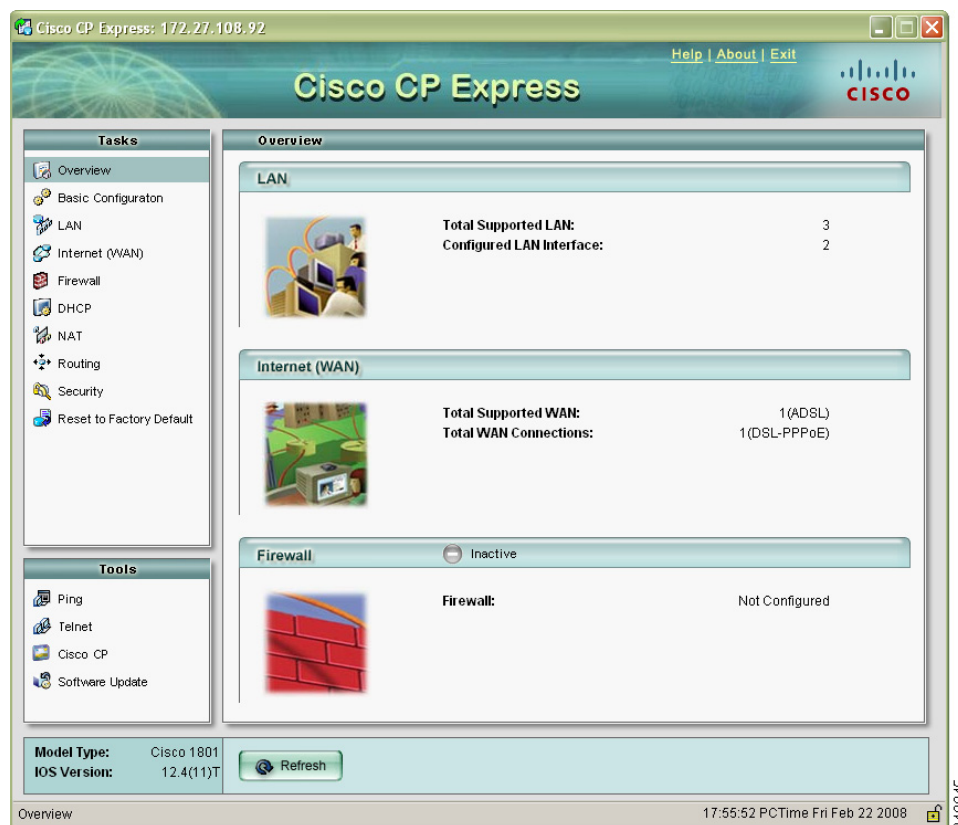
ステップ 2 ブラウザを開き、ルータの LAN インターフェイスに設定する新しい IP アドレスを入力します。

`http://new-IP-address`

たとえば、LAN インターフェイスに IP アドレス 192.0.2.1 を設定する場合は、ブラウザでコマンド `http://192.0.2.1` を入力します。

ステップ 3 Cisco CP Express ウィザードの実行時にルータに指定したユーザ名とパスワードを入力します。

図 7 Cisco CP Express ウィンドウ



Cisco CP Express ウィンドウが表示されたら、LAN インターフェイス設定の検証ができています。

ステップ 4 ブラウザの別のウィンドウを開いて任意の Web サイトに接続することで、設定されているインターネット (WAN) 接続をテストします。www.cisco.com などの Web サイトに接続できれば、WAN 接続は正常に機能しています。Web サイトに接続できない場合、Cisco CP Express または Cisco CP を使用して WAN 設定を修正してください。

ステップ 5 「タスク 8 : Cisco CP のインストール」に進んで Cisco CP をインストールします。

タスク 8 : Cisco CP のインストール

このセクションでは、ルータの管理に使用できるように Cisco CP を PC 上にインストールする方法について説明します。

このセクションを使用する場合 PC に Cisco CP をインストールしてルータを管理したい場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 Cisco CP を使用する必要がない場合は、このセクションを省略できます。

Cisco CP は、CD を使用して PC にインストールすることも、www.cisco.com から Cisco CP ファイルをダウンロードして PC にインストールすることもできます。ダウンロードするファイルは CD の内容と同じです。最初にインストレーション ファイルの場所を確認し、それからインストレーション ウィザードを開始します。



(注)

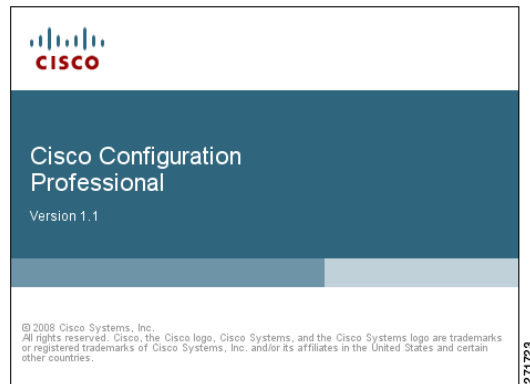
Microsoft Windows Vista Business Edition オペレーティング システムが稼動している PC に Cisco CP をインストールする場合は、必ず管理者モードでログインした状態でインストールを行なってください。この場合、Cisco CP をインストールする前に、Microsoft Windows の指示に従って管理者アカウントを作成し、そのアカウント名とパスワードを使用して PC にログインする必要があります。この手順を実施しなかった場合は、Cisco CP を実行する際に毎回 Cisco CP のアイコンまたはメニュー項目をクリックして [管理者として実行] を選択する必要があります。

Cisco CP を PC にインストールするには、次の手順に従ってください。

- ステップ 1** Cisco CP CD を使用する場合は、CD を CD ドライブに挿入します。次に、PC デスクトップで [マイ コンピュータ] をクリックします。www.cisco.com から Cisco CP をダウンロードしていた場合は、解凍したファイルがあるフォルダを開き、[ステップ 3](#) に進みます。
- ステップ 2** CD からインストールする場合は、[マイ コンピュータ] ウィンドウの CD ドライブ アイコン (例 : DVD/CD-RW ドライブ [D:]) をダブルクリックします。
- ステップ 3** インストレーション ファイル Cisco-config-pro-k9-N_N-ln.exe (N_N はバージョン番号、ln は言語) を見つけます。たとえば、英語版の Cisco CP 1.1 に対応するインストレーション ファイルは Cisco-config-pro-k9-1_1-en.exe です。
 - CD からインストールする場合は、このファイルはルート フォルダにあります。
 - ダウンロードした Cisco Configuration Professional パッケージからインストールする場合は、アーカイブを解凍し、該当するインストレーション ファイルを確認します。

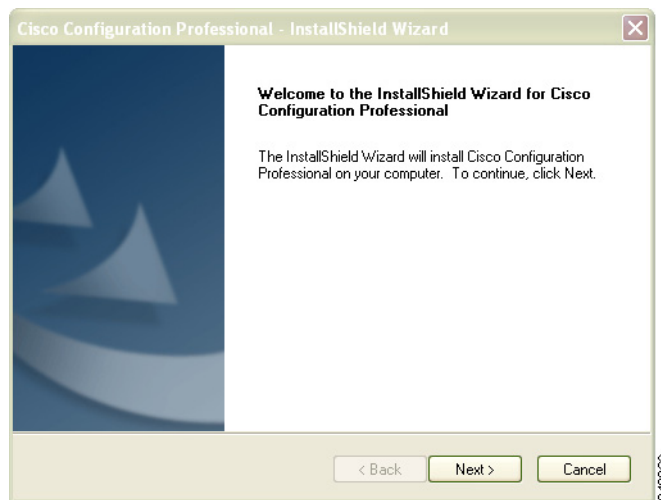
- ステップ 4** インストール ファイルをダブルクリックします。Cisco CP Installshield ウィザードの最初の画面 (図 8) が表示されます。なお、この図に示されているバージョンは、単なる例です。実際に表示されるバージョンは例と異なる場合があります。

図 8 Cisco CP InstallShield スプラッシュ画面



- ステップ 5** ようこそウィンドウ (図 9) が表示されたら、[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

図 9 ようこそウィンドウ

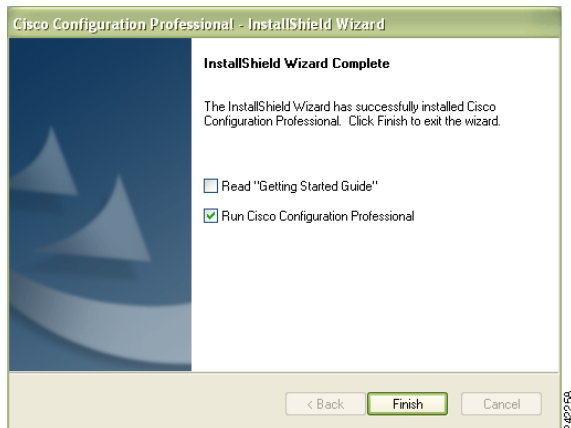


- ステップ 6** 表示される一連の画面で、ライセンス要件を確認し、Cisco CP のインストール先を選択します。インストールの開始画面で、[次へ] をクリックして PC へのファイル コピーを開始します。
- ステップ 7** インストール オプション画面で、Cisco CP のショートカットの作成先を選択し、[次へ] をクリックします。

ステップ 8 インストールの完了画面（[図 10](#)）で、[Cisco Configuration Professional の実行] をクリックします。

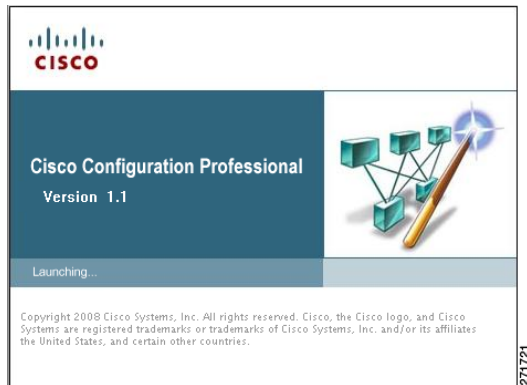
ステップ 9 Cisco CP の概要を知りたい場合は [『スタートアップガイド』を読む] をクリックします。

図 10 インストール オプション



ステップ 10 [完了] をクリックします。Cisco CP により [図 11](#) の画面が表示されます。[『スタートアップガイド』を読む] をクリックすると、別のウィンドウにクイック スタート ガイドの PDF が表示されます。なお、[図 11](#) に示されているバージョンは、単なる例です。実際に表示されるバージョンは異なる場合があります。

図 11 Cisco Configuration Professional スプラッシュ画面



ステップ 11 [タスク 9 : Cisco CP の使用開始](#) を読んで、デバイスのコミュニティを作成する方法と、Cisco CP を使用してデバイスを設定する方法を学習します。

タスク 9 : Cisco CP の使用開始

このセクションでは、Cisco CP の使用を開始する方法について説明します。

このセクションを使用する場合 ルータを管理するために PC に Cisco CP をインストールした場合は、このセクションを使用します。

このセクションを省略できる場合 Cisco CP をインストールしなかった場合は、このセクションを省略できます。



(注)

Cisco CP の CD にはトレーニング用のビデオが収録されています。ビデオを観る場合は、**ciscoep-video.html** ファイルをクリックし、再生したいビデオクリップを選択します。

Cisco CP はデバイス コミュニティを使用します。コミュニティは、IP アドレスおよびログイン クレデンシャルを提供して指定した 1 つまたは複数のデバイスから構成されます。コミュニティを作成したら、コミュニティ内のデバイスを操作できます。

このセクションの内容は次のとおりです。

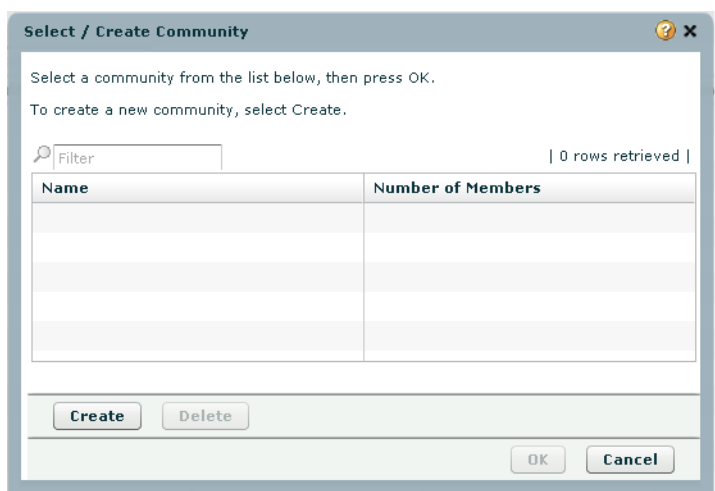
- [コミュニティの作成](#)
- [機能の初期設定の作成](#)
- [コンフィギュレーションの変更](#)

コミュニティの作成

コミュニティを作成する手順は、次のとおりです。

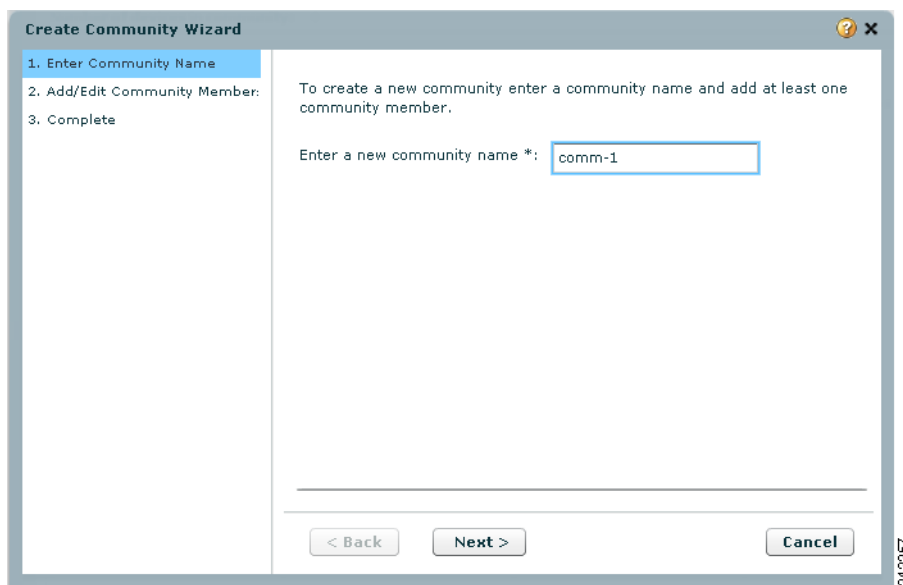
- ステップ 1** Cisco CP が稼働していない場合は、[スタート]>[プログラム]>**CiscoCP**の順にクリックするか、デスクトップ上の Cisco Configuration Professional アイコンをクリックして起動します。図 11 (P.22) の画面が表示されます。Cisco CP が起動すると、[コミュニティの選択/作成]画面 (図 12) が表示されます。

図 12 [コミュニティの選択/作成]画面



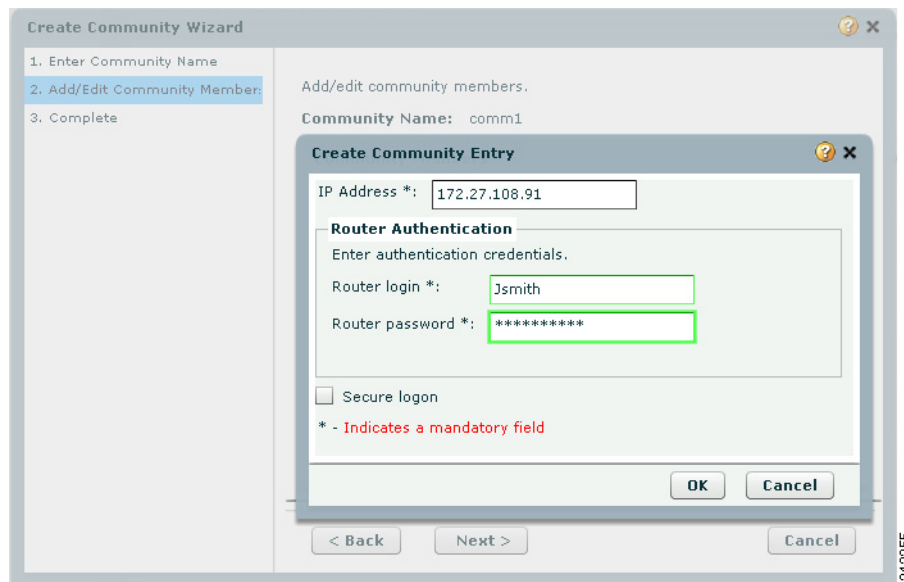
- ステップ 2** 最初のコミュニティを作成するには、[作成]をクリックします。
- ステップ 3** [コミュニティ名の入力]画面 (図 13) が表示されたら、コミュニティ名を入力し、[次へ]をクリックします。

図 13 コミュニティ作成ウィザード画面 : コミュニティ名の入力



- ステップ 4** ウィザードの [コミュニティ メンバの追加/編集] 画面で、[追加] をクリックします。[コミュニティ メンバの追加/編集] 画面の手前に [コミュニティエントリの作成] ダイアログ (図 14) が表示されます。

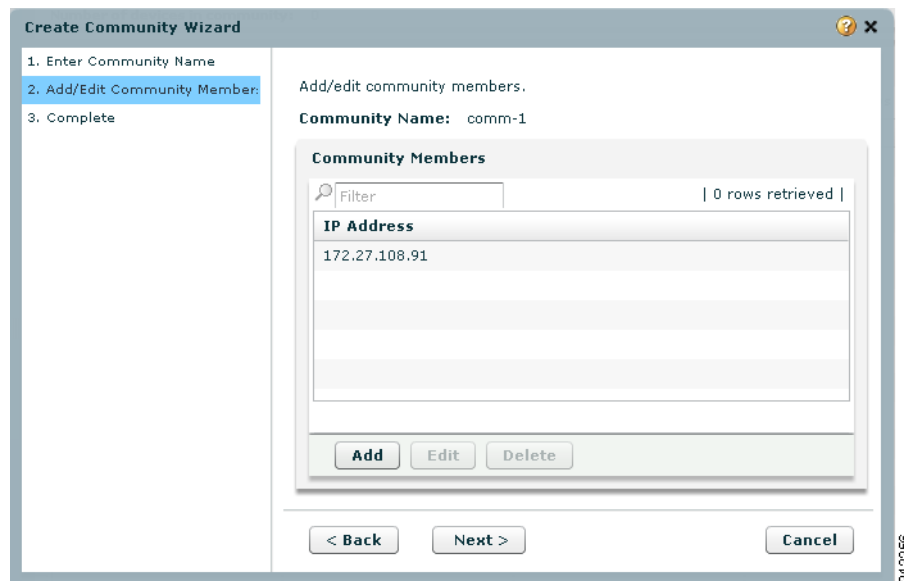
図 14 [コミュニティエントリの作成] ダイアログ



- ステップ 5** コミュニティのエントリを作成するには、コミュニティに追加するデバイスの IP アドレスとログイン クレデンシャルを入力する必要があります。指定するユーザ名の特権レベルは 15 にします。

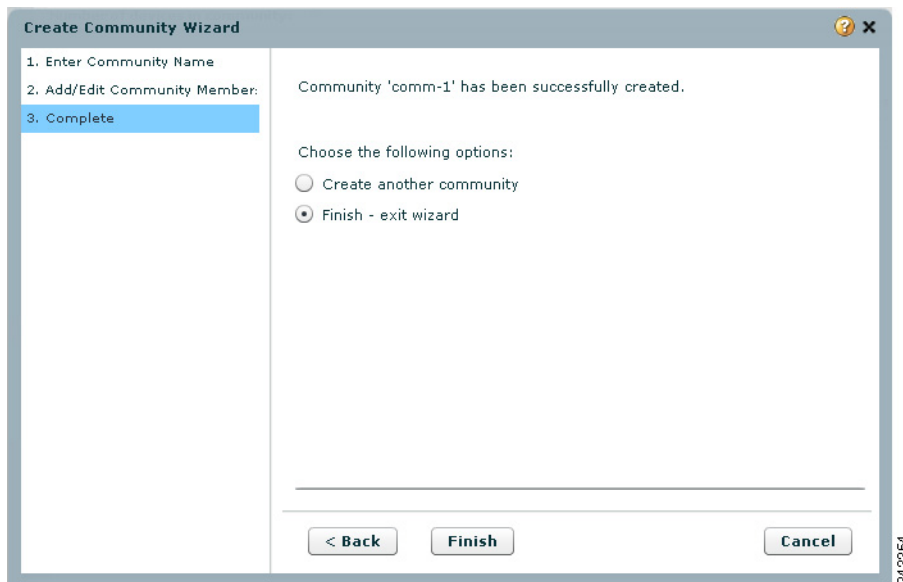
- ステップ 6** コミュニティ メンバー情報を入力し、[OK] をクリックします。[コミュニティエントリの作成] ダイアログが閉じ、[コミュニティ メンバの追加/編集] 画面が更新され、追加したデバイスの IP アドレスが反映されます (図 15)。

図 15 [コミュニティ メンバの追加/編集] 画面



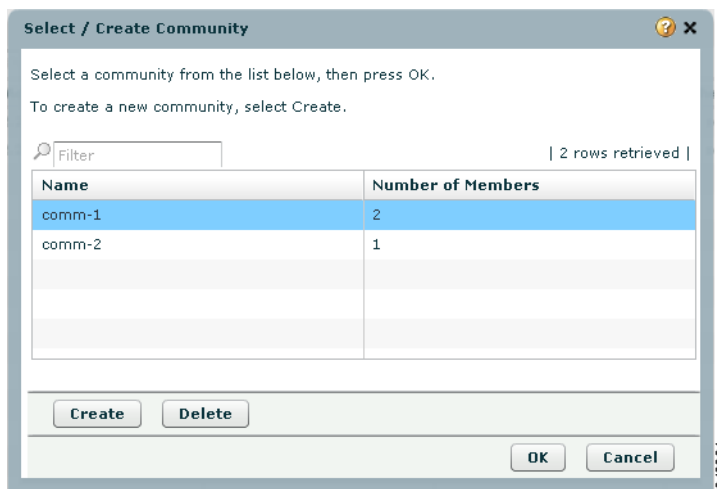
- ステップ 7** 別のデバイスをコミュニティに追加するには、[追加] をクリックし、[コミュニティエントリの作成] ダイアログにその情報を提供します。
- ステップ 8** コミュニティへのデバイスの追加作業が終了したら、[次へ] をクリックします。[完了] 画面 (図 16) が表示されます。

図 16 [完了] 画面



- ステップ 9** 次のいずれかを実行します。
- 別のコミュニティを作成するには、[他のコミュニティの作成] のチェックをオンにし、[完了] をクリックします。Cisco CP により、[コミュニティ名の入力] 画面に戻ります。
 - ウィザードを終了するには、[完了 - ウィザードを終了] のチェックをオンのままにして [完了] をクリックします。Cisco CP によりウィザードが終了し、[コミュニティの選択/作成] 画面が再表示され、作成したコミュニティに関する情報が更新されます (図 17)。

図 17 [コミュニティの選択/作成] 画面



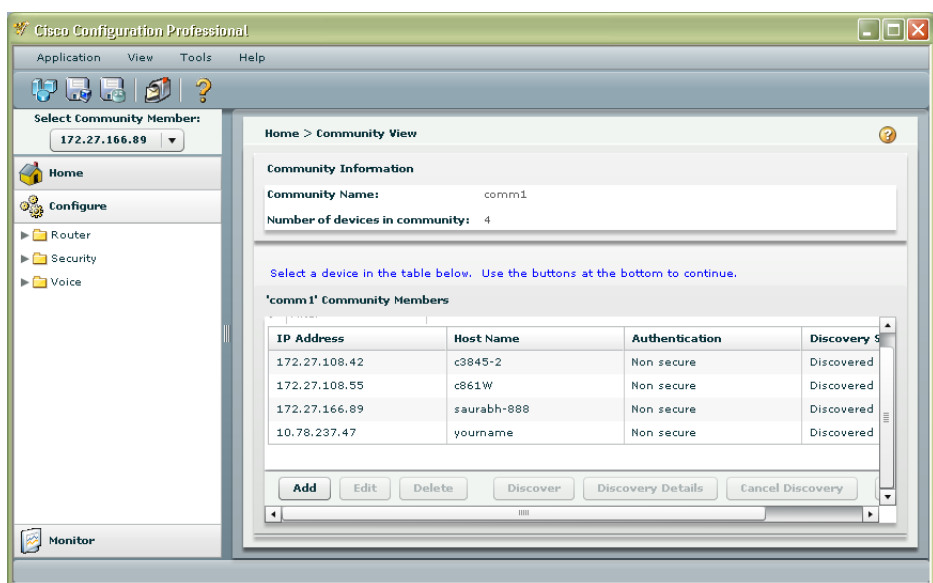
ステップ 10 Cisco CP を使用するためのルータの設定については、「[機能の初期設定の作成](#)」を参照してください。

機能の初期設定の作成

ここでは、ルータ インターフェイスを設定する手順について説明します。Cisco CP を使用して機能の初期設定を作成する例を示します。

ステップ 1 開始するには、デバイスが所属するコミュニティを選択し、**[OK]** をクリックします。[コミュニティ情報] 画面 (図 18) が表示されます。

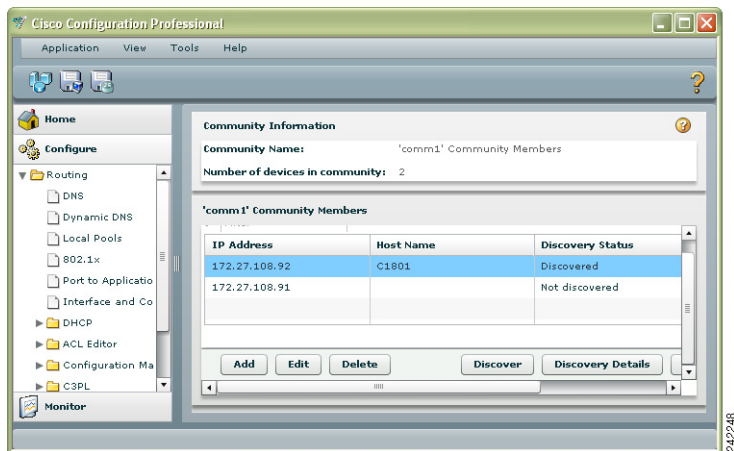
図 18 [コミュニティ情報] 画面



ステップ 2 [コミュニティ情報] 画面で、設定するデバイスを選択し、**[検出]** をクリックします。ネットワークの状態によっては、Cisco CP がデバイスを検出するまでに数分かかることがあります。コミュニティ内で設定したいデバイスがほかにもある場合は、それらを選択して **[検出]** をクリックします。

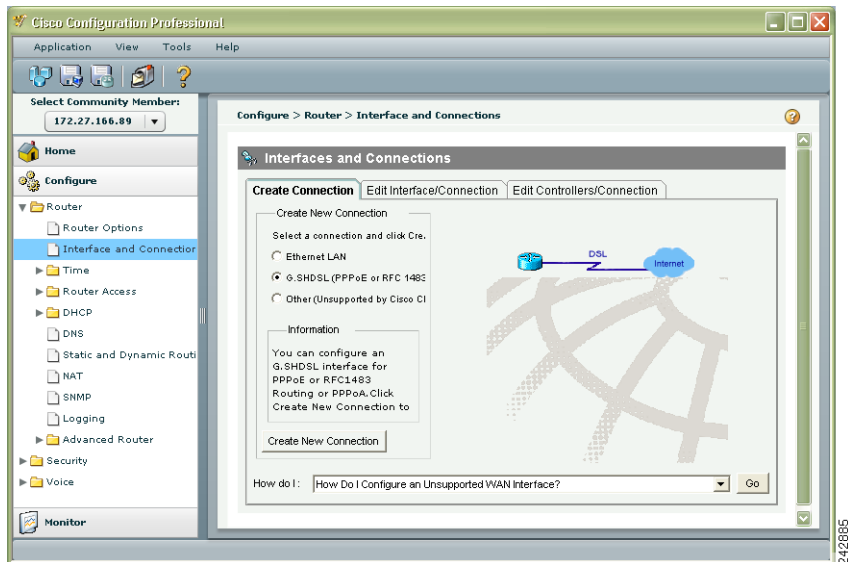
ステップ 3 検出されたデバイスの設定を開始するには、デバイスの行をクリックし、左側のペインで **[設定]** をクリックします。図 19 では、左側のペインに **[設定]** ツリーが展開されて表示されています。

図 19 [設定] ツリー



ステップ 4 [設定] ツリーで、実行したい設定タスクを選択します。右側のペインにそのタスクの画面が表示されます。図 20 に、[インターフェイスと接続] 画面を示します。

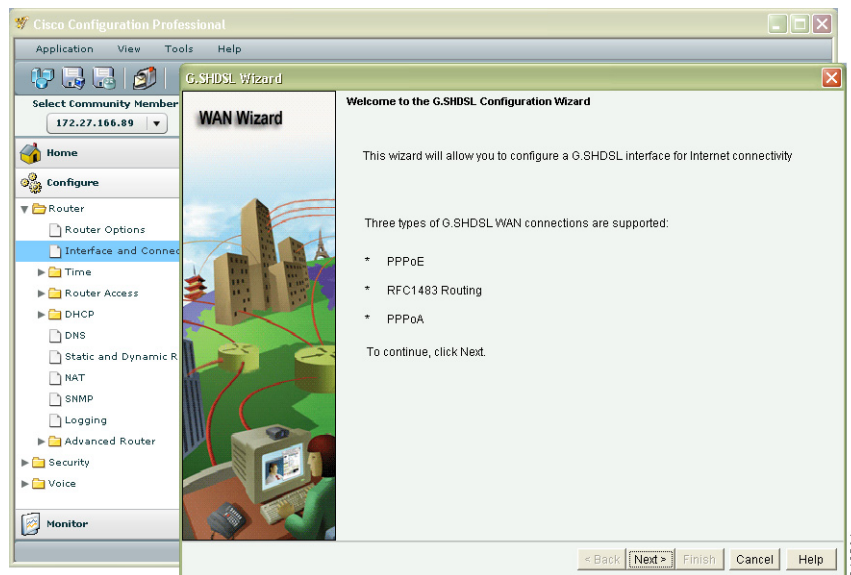
図 20 [インターフェイスと接続] 画面



[インターフェイスと接続] 画面には、[接続の作成] タブと [インターフェイス/接続の編集] タブがあります。Cisco CP 画面の [接続の作成] タブを使用すると、スマート ウィザードにアクセスできます。このウィザードにより一連の設定を行い、変更する項目が既存の設定と矛盾しないかどうかを知ることができます。[インターフェイス/接続の編集] タブを使用するとほかの設定の画面にアクセスできます。ウィザードを使用して初期設定を作成したあと、[インターフェイス/接続の編集] タブから開く画面で設定内容を確認し、必要に応じて変更を加える手順を推奨します。

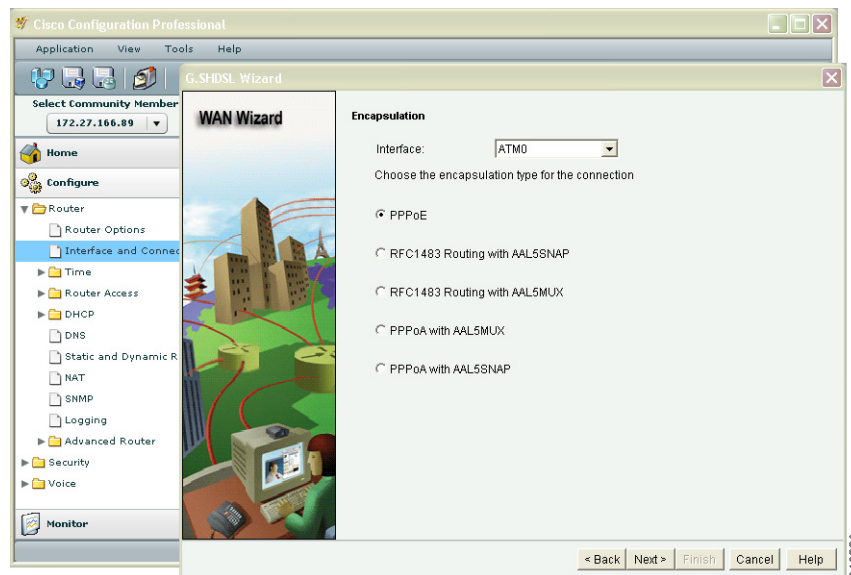
ステップ 5 ウィザードの使用を開始するには、[接続の作成] タブ上の [新しい接続の作成] ボタンまたは「起動」をクリックします。ウィザードのようこそ画面が表示され、実行するタスクについての説明が表示されます。図 21 に、[ADSL WAN 設定ウィザードへようこそ] 画面を示します。

図 21 [ADSL WAN 設定ウィザードへようこそ] 画面



ステップ 6 ウィザードを使用して設定を開始するには、[次へ] をクリックします。図 22 に ADSL カプセル化画面を示します。この画面では使用するカプセル化のタイプを選択できます。

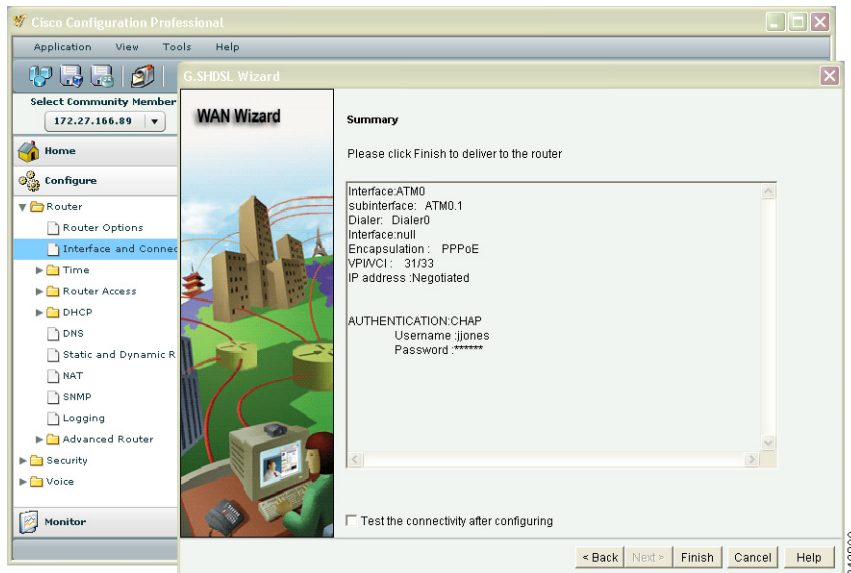
図 22 ADSL カプセル化画面



ステップ 7 画面のプロンプトに対して値を選択するか、値を入力します。

ステップ 8 [次へ] ボタンを使用して以降の各画面に移動し、設定を行います。すべての必要な値を入力すると、ウィザードに 要約画面が表示されます。要約画面には入力したすべての値が表示されます。図 23 に、ADSL 接続の要約画面を示します。

図 23 ADSL 接続の要約画面





ステップ 9 情報を確認します。変更したいものがある場合には、[戻る] をクリックして該当する画面まで戻って変更をしたあと、[概要] 画面に戻ります。

ステップ 10 [完了] をクリックして変更をルータに送信します。

ステップ 11 実行コンフィギュレーションをルータの起動コンフィギュレーションまたは PC に保存する場合は、表 4 に説明されているボタンを使用してください。

表 4 実行コンフィギュレーションの保存ボタン

ボタン	機能
	実行コンフィギュレーションを PC に保存します。
	実行コンフィギュレーションを起動コンフィギュレーションに保存します。

「[コンフィギュレーションの変更](#)」には、コンフィギュレーションの変更方法についての説明があります。

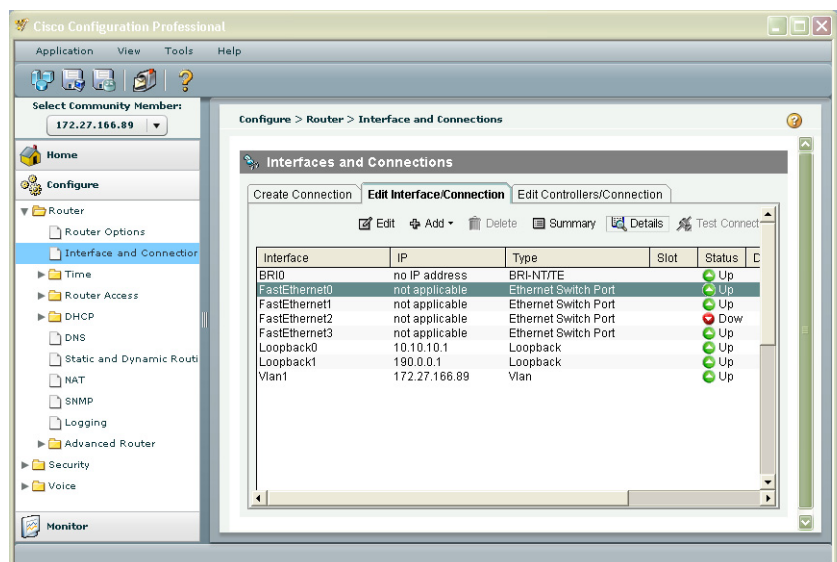
コンフィギュレーションの変更

ウィザードを使用してコンフィギュレーションを作成したあとは、ウィザードに戻らずにコンフィギュレーションを変更できます。コンフィギュレーションの編集機能を使用することにより、ウィザードには用意されていない他の設定値にアクセスできます。次に、ファストイーサネット接続を変更する手順の例を示します。

コンフィギュレーションを変更する手順は、次のとおりです。

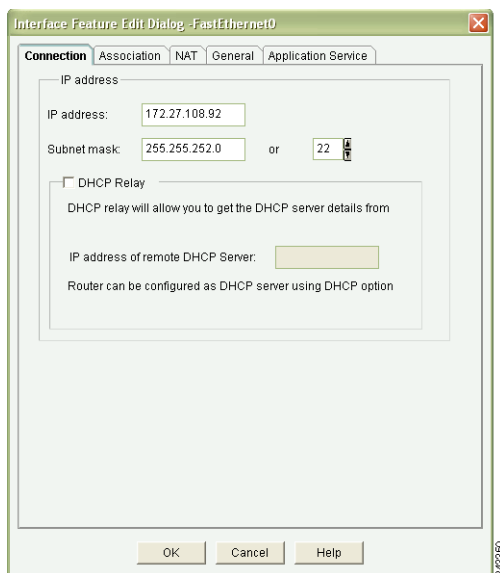
- ステップ 1** 編集画面にアクセスするには、[インターフェイス/接続の編集] タブをクリックします。図 24 (P.31) に、[インターフェイス/接続の編集] タブを示します。

図 24 [インターフェイス/接続の編集] タブ



- ステップ 2** コンフィギュレーション エントリを変更するには、そのエントリをダブルクリックします。画面に [編集] ボタンがある場合は、変更したいエントリを選択し、[編集] をクリックします。タブ形式のダイアログが表示されます。図 25 に、ファストイーサネット接続のインターフェイス機能編集ダイアログを示します。

図 25 接続ダイアログ



- ステップ 3 ダイアログで、必要な設定を行います。
- ステップ 4 変更したい項目があるダイアログのタブをクリックし、そのタブで関連する変更を加えます。
- ステップ 5 [OK] をクリックして変更をルータに送信し、ダイアログを閉じます。

作業終了：次の作業について

Cisco CP を使用したルータの初期設定が終了しました。追加の機能設定や既存の設定の変更などに、引き続き Cisco CP を使用することができます。

Cisco CP およびルータに関する詳細情報について

Cisco CP の機能の詳細については、Cisco CP オンライン ヘルプおよび Cisco.com から入手可能なマニュアルを参照してください。

Cisco CP に関する他の情報については、次のリンクにある Web ページからも入手可能です。

<http://www.cisco.com/go/cisocp>

この Web サイトを使用すると、データシートや技術マニュアルおよび製品アップデートへのリンクなど Cisco CP に関する詳細情報にアクセスできます。

CLI を使用するために PC をルータのコンソール ポートに接続する方法や、ルータの LED を使用してインストラクションを確認する方法など、他の手順については、ご使用のルータのクイック スタートガイドを参照してください。クイック スタート ガイドには重要な保証に関する情報が含まれている場合があります。

Cisco.com

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

設定が終了したルータの他のマニュアルの入手方法、マニュアルに関するフィードバックの提供、テクニカルサポートについては、クイック スタート ガイドを参照してください。

CCDE, CCSI, CCENT, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Nurse Connect, Cisco Stackpower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0903R)

Copyright © 2009 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2009, シスコシステムズ合同会社 .
All rights reserved.

